

(別紙)

平成18年3月9日
内閣府食品安全委員会事務局

「食品に関するリスクコミュニケーション(東京) - 重金属と食品の安全性 - (仮題)」
の開催と参加者の募集について(お知らせ)

食品安全委員会では、平成15年7月の発足以来、リスク分析の考え方に基づき、食品等に対するリスク評価を行うとともに、評価結果についてリスクコミュニケーションを行い、皆様に情報提供を行うとともに皆様からご意見をいただけてきたところです。

食品中の重金属については、昨年8月に、魚介類等に含まれるメチル水銀についてリスク評価をいたしました。今後も、評価依頼等に応じて、種々のリスク評価が行われていくこととなっております。

今回、食品安全委員会では、食品中の金属摂取の研究等で有名なグンナー・ノルドバーグ博士およびモニカ・ノルドバーグ博士をスウェーデンから招聘し、食品中の重金属の研究や重金属の無毒化作用のあるメタロチオネインについてご講演いただくことになりました。両博士は国際産業保健学会金属毒性学科学委員会で座長を務められるなど、国際的にも活躍されています。この機会に、お二人のご講演及び会場参加者との意見交換を下記のとおり行ないますのでご案内いたします。

1. 開催日時：平成18年3月30日(木) 15時00分～17時30分
2. 会場：キャピトル東急ホテル(別紙地図参照)
東京都千代田区永田町2-10-3
3. 主催：食品安全委員会
4. 参加者：約200名
5. テーマ：重金属と食品の安全性(仮題)
6. プログラム(予定)[日英同時通訳有]

講演 「重金属は食品の安全性にどのように影響するのか?(仮題)」
グンナー・ノルドバーグ 博士(スウェーデン・ウメオ大学教授)
「生体内の有害重金属の無毒化 メタロチオネインの作用 (仮題)」
モニカ・ノルドバーグ 博士(スウェーデン・カロリンスカ研究所助教授)
会場参加者との意見交換
コメンテーター 佐藤 洋 食品安全委員会汚染物質専門調査会座長(予定)

7. 参加者の募集

参加をご希望の方は、平成18年3月27日(月)正午までに、**別添**のとおり、氏名、住所、電話番号、FAX番号、勤務先、をご記入の上、FAX、ハガキ、インターネットで下記にお申し込みください。ハガキによる申込みの場合は官製ハガキで3月23日(木)必着にてお願いいたします。希望者が多い場合は、先着200名で締め切らせていただく場合がありますのでご了承下さい(参加費無料)。

また、参加の可否については、FAX又はハガキにより連絡いたしますので、参加できる旨のFAX又はハガキを受け取った方は、意見交換会当日、会場受付で、当該FAX又はハガキ、及び身分を証明するものをご提示ください。

なお、氏名・住所等は、当方から必要に応じてご連絡させていただく場合や会場での参加確認のため、また、どのような立場の方々をご参加されているのかを把握するためにお尋ねしております。

(申込み先について)

申込み先：「食品に関するリスクコミュニケーション(東京)」事務局

(株式会社コンベンションリンクエージ業務提携先：株式会社アプテック)

・FAXでのご応募：048-718-1151

・ハガキでのご応募：

〒344-0112 埼玉県春日部市西金野井1745

「食品に関するリスクコミュニケーション(東京)」事務局

・インターネットでのご応募：食品安全委員会ホームページ(<http://www.fsc.go.jp>)
で3月9日(木)18:00より受付開始

(受付：<https://www.at-conference.jp/risk/index.asp?code=RC20060330B>)

問い合わせ先：「食品に関するリスクコミュニケーション(東京)」事務局

TEL 03-3263-8695

(受付時間 9:30~17:00 土日・祝日を除く)

業務管理委託先：株式会社コンベンションリンクエージ 責任者：下之園

食品安全委員会では、事務効率改善の観点から、一般競争入札制度のシステムにより決定された民間企業に、会場の確保、参加者受付などの一部業務について、その業務の管理を委託して実施しております。

なお、食品安全委員会から意見交換会の実施事務に関して業務委託を受ける民間企業に対し、今後とも食品安全委員会として適切な指導・監督を行い、個人情報及びその管理に努めてまいります。

【報道関係者の皆様へ】

・意見交換会は公開といたします(カメラ撮り可)。

・参加を希望される報道関係者につきましては、会場設営の都合上、申込み期限(平成18年3月27日(月)正午)までに、「食品に関するリスクコミュニケーション(東京)参加希望」を明記し、会社名、氏名、TVカメラの有無、電話番号、参加人数を記入(様式自由)の上、上記申込み先までご連絡ください。

(別添)

「食品に関するリスクコミュニケーション(東京)」
- 重金属と食品の安全性 - (仮題)
(平成18年3月30日開催)

参加申込書

フリガナ 氏名	住所(都道府県から)	Tel番号(市外番号から) Fax番号	フリガナ 勤務先 所属団体等
	勤務先 自宅 〒 _____ - _____	Tel Fax	
	勤務先 自宅 〒 _____ - _____	Tel Fax	
	勤務先 自宅 〒 _____ - _____	Tel Fax	

ハガキでのお知らせに間に合わない場合、Faxでのお知らせとなりますので
Fax番号は必ずご記入願います。

(Fax通知が困難な方へのご連絡はできかねますことを予めご了承ください。)

・該当する番号にひとつだけ を付けて下さい。

- 1) 消費者団体 2) 無職(主婦、学生等) 3) 生産者
4) 食品関連事業者(加工、流通、販売等) 5) マスコミ関係者
6) 行政関係者 7) 研究・教育機関(食品関係)
8) その他(具体的にご記入下さい:)

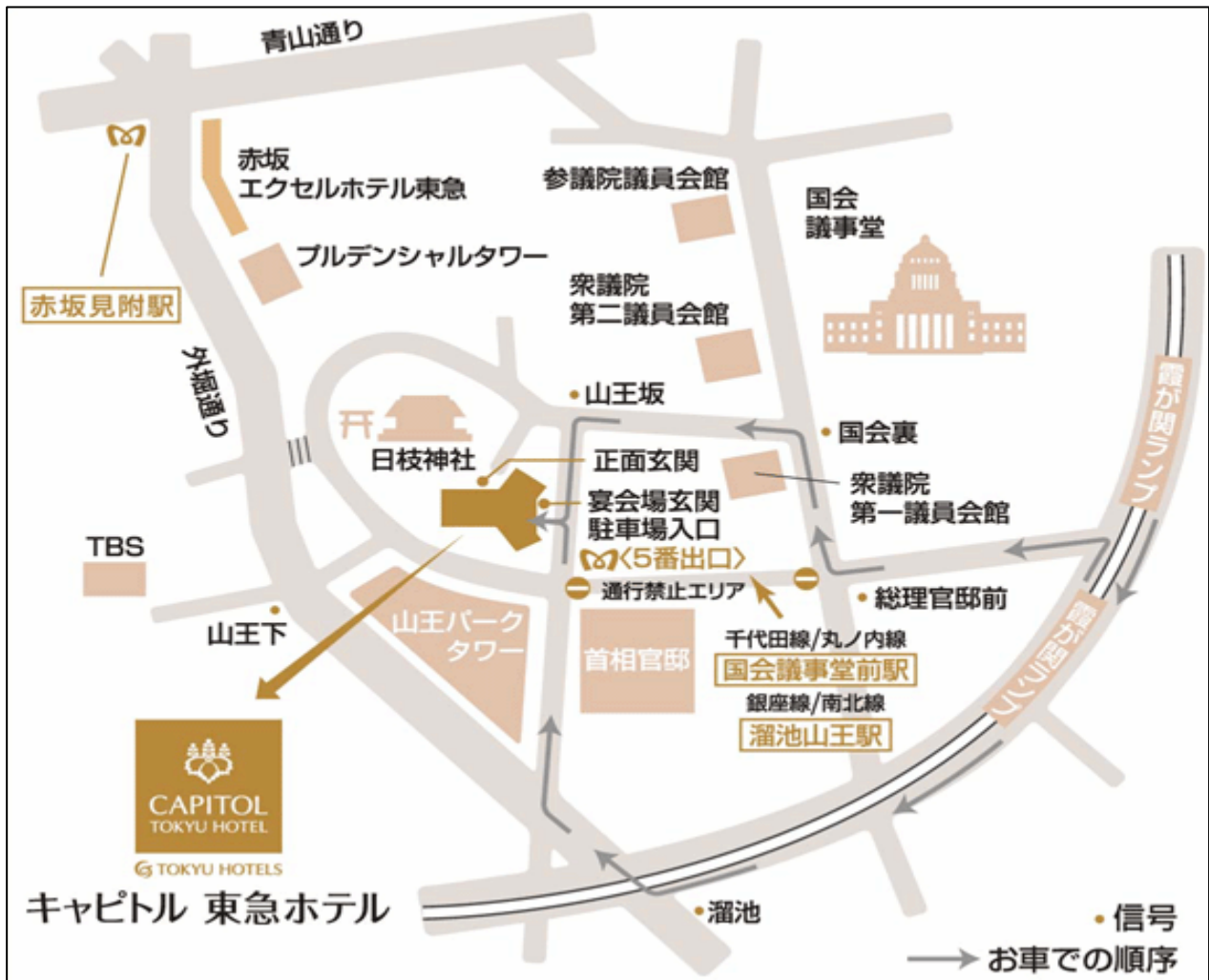
なお、この用紙は、平成18年3月27日(月)正午までに提出いただきますようお願いいたします。

FAX送信先: 「食品に関するリスクコミュニケーション(東京)」事務局
048-718-1151

(別紙)

「食品に関するリスクコミュニケーション(東京)」会場

キャピトル東急ホテル(東京都千代田区永田町2-10-3)



地下鉄丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前」駅

地下鉄南北線・銀座線「溜池山王」駅

※各5番出口正面

講演者プロフィール

グンナー・ノルドバーグ 博士 (Gunner Nordberg, PhD(Med. Dr))

1972年、カロリンスカ研究所(ストックホルム、スウェーデン)においてカドミウム代謝と毒性研究で博士号取得。EPA(米国環境保護庁)等で研究活動後、カロリンスカ研究所教授、オデンセ大学(デンマーク)等を経て、1979年からウメオ大学公衆衛生臨床医学部職業性環境医学学科環境医学専攻終身教授。

1989年から1年間、客員研究員としてIARC(国際癌研究機関)に在職し、また、1989年から1996年まで国際産業保健学会金属毒性学科学委員会座長を務めた。

主に毒性学及び金属疫学や他の環境因子に関する著作多数。また、EUや国際的なプロジェクトに多数参加。現在は、FAS、FORMAS(スウェーデンの資金提供機関)による「室内プールにおけるトリクロラミン」研究のプロジェクトに従事している。

モニカ・ノルドバーグ 博士 (Monica Nordberg, PhD(Dr))

ストックホルム大学を卒業後、1977年、カロリンスカ研究所環境衛生学部でメタロチオネイン*およびカドミウムの研究により博士号取得。米国環境健康科学研究所客員研究員、国家防衛委員会毒性学教授等を経て、1983年からカロリンスカ研究所環境医学研究部門環境健康リスク評価助教授。1988年から1993年までは同研究所環境衛生学部長を務めた。

2003年から国際産業保健学会金属毒性学科学委員会座長、2004年から国際学微量元素学会副会長、また、本年からIUAPC(国際純粋応用化学連合)名誉会員に任命されている。

たん白質化学、生化学的金属毒性学、特に有毒性作用や健康影響評価に多く業績を残している。

* メタロチオネイン (metallothionein)

システイン(アミノ酸の一種)含量の高い分子量6,000~7,000のたん白質。生体内でカドミウムや水銀などの有害重金属に結合して無毒化したり、生体に必須な亜鉛や銅の蓄積と輸送に関わる。